



創立50周年 特集号



第77号 令和7年10月

自然学校 川崎町
(あっぱる愛子こども園)

発行：社会福祉法人 千代福祉会

発行人：理事長 鈴木 邦夫

事務局：仙台市青葉区芋沢字畑前北62 電話 022(394)5206/FAX 022(394)5207

事業所：障害者支援施設 ますみ学園/おおぞら学園/清風園/あおば園、児童福祉施設 あっぱる荒井こども園/あっぱる愛子こども園
共同生活援助事業所 わーぷ、障害者相談支援事業所 こねくと千代、多機能型事業所スペースせんだい

千代福祉会の歩み

昭和を振り返る

- 昭和50年10月1日 社会福祉法人「千代福祉会」法人認可
昭和51年4月1日 宮城県内の民間社会福祉法人成人施設第2号として精神薄弱者更生施設「ますみ園」開園（定員40名）
昭和54年4月1日 精神薄弱者更生施設「おおぞら学園」開園（定員50名）「ますみ園」を「ますみ学園」に改称（定員50名）
昭和62年4月1日 重度棟として精神薄弱者更生施設「清風園」開園（定員50名）



昭和51年4月1日 「ますみ園」開園



昭和60年 クリスマス会（ますみ学園）



昭和63年
もちつき大会
（ますみ学園）



昭和61年 収穫祭でお神輿を担いで地域を練り歩く様子
（ますみ学園）



昭和54年4月1日 「おおぞら学園」開園



昭和63年
木工班
（おおぞら学園）





昭和62年 生け花教室の作品を出展
(ますみ学園)



昭和61年 開園を記念して行われた球技大会 (ますみ学園・おおぞら学園)



昭和63年 牛野ダムで行われた芋煮会 (ますみ学園)



昭和62年 4月1日 「清風園」開園



昭和62年 運動会 (おおぞら学園)



昭和62年 原木椎茸の栽培の様子 (清風園)



昭和63年 那須りんどう湖への一泊旅行 (清風園)



昭和62年 県民の森 お花見 (清風園)

平成を振り返る

- 平成 2 年 3 月 10 日 『千代福祉会体育館』落成
- 平成 3 年 4 月 1 日 宮城県第 1 号として知的障害者地域生活援助事業所・グループホーム「あやしホーム」設置。
以降、平成21年まで24ホーム設置、現在17ヶ所運営
- 平成 5 年 4 月 1 日 高齢者棟として精神薄弱者更生施設「あおば園」開園（定員50名）
- 平成 7 年 千代福祉会20周年行事の一環として仙台市青年文化センター（当時）において「ピュア・ハーツinせんだい」開催
- 平成 8 年 千代福祉会20周年行事として宮城広瀬総合運動場グラウンド（当時）において宮城地区福祉夏祭りを開催
- 平成 9 年 4 月 1 日 「地域生活援助センター」開設
- 平成10年 千代福祉会20周年行事としてグアム旅行を開催（4 施設）
- 平成13年 1 月19日 「仙台市障害者就労支援センター」開設（仙台市から委託）
- 平成15年 4 月 1 日 「地域生活援助センター」を「地域生活総合支援センター」に改称
- 平成18年10月 1 日 共同生活援助事業所「GCH」認可

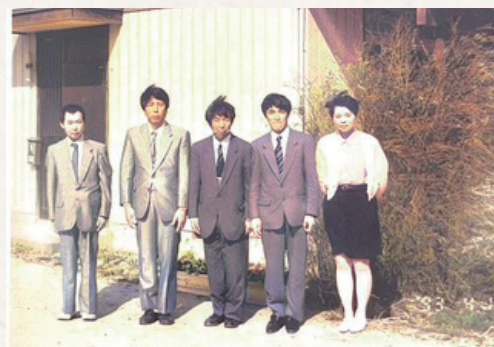
平成 8 年 宮城地区福祉夏祭り



平成 2 年 3 月 10 日 「千代福祉会体育館」落成



平成10年 グアム旅行 20周年行事として



平成 3 年 4 月 1 日
「あやしホーム」設置



平成 9 年 4 月 1 日
地域生活援助センター開設
(平成15年 4 月 1 日
地域生活総合支援センターに改称)





平成5年4月1日 「あおば園」開園



平成6年11月 泉ヶ岳への遠足（清風園）



平成9年9月 愛護体育祭参加（あおば園）



平成11年12月 マリニピア松島水族館（おおぞら学園）



平成7年 第1回ピュア・ハーツinせんだい



平成11年6月 アトリエ開所
平成13年12月 アトリエ
ぽてとはうすに改称



平成9年 第3回ピュア・ハーツinせんだい



陶芸教室



平成7年
クリスマス会（あおば園）



絵画教室

平成から令和へ

- 平成21年 5月1日 認可保育所「あっぷる保育園」開園
(定員90名)
- 平成22年 3月31日 仙台市障害者就労支援センター業務
終了
- 平成23年 5月1日 仙台市障害者家族支援等推進事業所
「ほっと・ひろせ」開設
- 平成24年 4月1日 知的障害者入所更生施設が法改正に
より障害者支援施設に変更
- 平成26年 4月1日 共同生活介護事業所「GCH」から共
同生活援助事業所「わーぷ」へ変更
- 平成26年 6月1日 障害者相談支援事業所「こねくと千
代」開設
- 平成27年 4月1日 認可保育所「あっぷる愛子保育園」
開園
(定員130名)
- 平成29年 3月31日 仙台市障害者家族支援等推進事業所
「ほっと・ひろせ」閉所
- 令和 3年 4月1日 多機能型事業所「スペースせんだい」
開所(就労継続支援B型・生活介護)
- 令和 6年 4月1日 認可保育所から認定こども園に移行



平成21年 5月1日
認可保育所「あっぷる保育園」開園



平成25年 7月 なつまつり(あっぷる保育園)



平成27年 4月1日
認可保育所「あっぷる愛子保育園」開園



平成26年 5月 5周年記念あっぷるまつり(あっぷる保育園)



平成30年 1月 愛子駅オープニングセレモニー(あっぷる愛子保育園)





平成 26 年 6 月 1 日
障害者相談支援事業所
「こねくと千代」
(あおば園内に開設)



令和 3 年 4 月 1 日
地域生活総合支援センター新築
多機能型事業所「スペースせんだい」開所
共同生活援助事業所「わーふ」と障害者相談支援
事業所「こねくと千代」が支援センターへ移転



共同作業 「夢をのせて」
(スペースせんだい)



就労継続支援 B 型
除草作業
(スペースせんだい)



生活介護 缶バッジ作製
(スペースせんだい)



平成 30 年
スプリングバレー仙台泉スキー場
(わーふ)



平成 29 年 北海道旅行 (わーふ)



令和 6 年
東北楽天ゴールデンイーグルス観戦 (わーふ)



ひまわりホーム



平成 23 年 一泊旅行
ディズニーランド (わーふ)



一般就労
(解体作業・わーふ)

そして令和 7 年

楽しかったね



伊達政宗公と一緒に

5月14日(水)
遠足 青葉城址



同じ形はどれでしょう

6月20日(金)
運動会

ますみ学園

9月11日(木)~12日(金)
一泊旅行 岩手



小岩井農場を散策

おおぞら学園

新種の桜
「秋保足軽紅重」です



4月15日(火) お花見
秋保野尻交流カフェばんどころ

松島湾を背景に



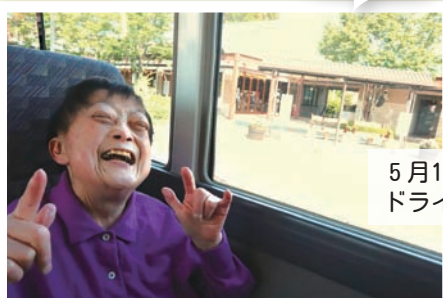
6月10日(火)、24日(火)
日帰り旅行 東松島

ブルーインパルス



清風園

車窓から



5月13日(火)、20(火)
ドライブ外出

おいしい食事



6月17日(火)
日帰り旅行 作並

演者さんと一緒に



お花見でポーズ



4月10日(木)
お花見 仙台市水道記念館

仲良し二人組



6月10日(火)
お楽しみ会

あおば園

8月4日(月)、5日(火)
七夕見学 秋保里センター



七夕飾り
綺麗でした

夏祭り



はっぴーせっと♡様



さかえ里美様



バルーンアート工房 カラービーンズ様



上川前婦人部様



猩猩緋連花道様



西部広陵太鼓様



みちのく仙台★ORI姫隊様



マシュマロ
焼いたよ

あっぱる荒井こども園



6月6日(金)
自然学校 川崎町

絵の具遊び
楽しいね



9月2日(火)
ミニあそぼう会

あっぱる愛子こども園

森の探検隊

6月6日(金)
自然学校 川崎町



お神樂わっしょい



6月13日(金)
あっぱるらんど

永年勤続表彰



◆40年勤続

三浦 政子（おおぞら学園：パート支援員）

◆30年勤続

佐藤 栄里（おおぞら学園：支援課長）

◆20年勤続

佐々木信仁（おおぞら学園：支援員）

高谷 鈴子（わーぷ：世話人）

松平たき子（わーぷ：世話人）

◆10年勤続

福島 久登（おおぞら学園：支援員）

菱沼 愛（清風園：支援員）

遠藤 照胤（あっぷる荒井こども園：主幹保育教諭）

相澤 結実（あっぷる荒井こども園：保育教諭）

高橋 耶絵（あっぷる荒井こども園：保育教諭）

杉本美紗希（あっぷる愛子こども園：副主幹保育教諭）

川島 和美（あっぷる愛子こども園：保育教諭）

大切にしていること

おおぞら学園 支援員 **福島 久登**



「ありがとね」と利用者さんからの言葉。言葉を発せない方は、表情や体を使って喜びを表現してくださり、いつも元気を頂いています。私が日々の支援の中で大切にしている事は、『コミュニケーションを通して利用者さんの笑顔を作る』です。利用者さんが好きな雑誌を一緒に見ながら会話したり、時には私が冗談を言ったりと、コミュニケーションを通して利用者さんが笑顔になっていただけるよう努めています。また、「この職員さんに相談したい、一緒にいると楽しい」というような心持で接する事で『信頼関係の構築』に繋がるとも考えております。職員も利用者さんも笑顔の絶えない施設作りを目指して、今後も邁進します。



あっぷる愛子こども園 保育教諭 **川島 和美**



私が保育をする上で大切にしていることは「楽しむこと」です。こども達は常に「やってみたい」「楽しそう」という気持ちで、毎日を生き生きと過ごしています。そんな姿を見ていると、自分自身も主体的に楽しむことが大切だと思うようになってきました。今は自分がやってみたいと思う保育や遊びにどんどん挑戦し、こども達と一緒にたくさんの「楽しい」を見つけることが仕事のやりがいにも繋がっています。これから色々なことに挑戦しながら、思い切り楽しむ姿をこども達に見せていきます。



第33回 宮城県・仙台市障害者スポーツ大会

とっておきの音楽祭2025



5月10日(土)

仙台市知的障害者ボウリング大会
ボウルグルーバース



5月25日(日)

障害者フライングディスク大会
シェルコムせんたい



6月1日(日)

仙台定禅寺ビル前



地域とのつながり

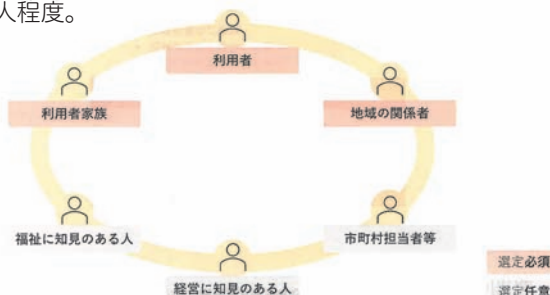
障害者支援施設と共同生活援助事業の運営にあたり、令和7年度より、地域連携推進会議の開催が義務化されました。

当法人でも、5事業所で6月30日に開催しています。会議では、施設の概要や利用者状況、生産活動・行事等の日中の支援内容について説明し、質疑応答の後に施設見学が行われました。質疑応答の中では、生産物の販売について質問や、災害時の連携についての話し合いがなされ、地域とのかかわり方を進めていくうえでとても有意義な会議となりました。今後も当法人の「地域とのつながりを大切にする」という基本理念の基、施設運営を行っていきたいと考えております。ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



地域連携推進会議の構成員

- ・会議の構成員は、「利用者」「利用者家族」「地域の関係者」「福祉に知見のある人」「経営に知見のある人」「市町村担当者」などを想定。このうち、「利用者」「利用者家族」「地域の関係者」は必ず選出することが必要。
- ・人数は5人程度。



地域連携推進会議の目的

- 利用者と地域の関係づくり
- 地域の人への施設等や利用者に関する理解の促進
- 施設等やサービスの透明性・質の確保
- 利用者の権利擁護

採用職員紹介

	<p>ますみ学園 支援員 ^{もりや} 守屋 ^{しげあき} 繁明 利用者の皆さんが安心して過ごせるよう支援します。</p>		<p>清風園 パート支援員 ^{とみた} 富田 ^{みねこ} 峰子 利用者の方と親しくなれるよう、積極的にコミュニケーションをとっていきます。</p>
	<p>ますみ学園 パート支援員 ^{わがつま} 我妻 ^{まなぶ} 学 利用者の皆さんが楽しく健康に生活できるよう支援します。</p>		<p>あおば園 支援員 ^{さとう} 佐藤 ^{ひろあき} 大晃 入所施設での支援は初めてですが、前職の経験を活かして頑張ります。</p>
	<p>清風園 事務員 ^{くわじま} 桑島 ^{みさと} 美里 早く仕事に慣れるよう、精一杯頑張ります。</p>		<p>あっぷる荒井こども園 保育教諭 ^{あべ} 阿部 ^{かほ} 果朋 こどもに寄り添った保育ができるように頑張ります。</p>
	<p>清風園 支援員 ^{あべ} 阿部 ^{さおり} 沙織 利用者の方の笑顔と生活の為に、精一杯支援していきます。</p>		<p>あっぷる愛子こども園 保育教諭 ^{ただ} 多田 ^{あすか} 明日香 こどもたちの笑顔のために保育を一生懸命頑張ります。</p>
	<p>清風園 支援員 ^{かわしま} 川嶋 ^{てるゆき} 瑛之 前職での10年の障害者支援を生かして、人生がより豊かになるよう精一杯支援させていただきます。よろしくお願いします。</p>		<p>あっぷる愛子こども園 保育教諭 ^{さわさき} 澤崎 ^{なぎさ} 渚 常に笑顔と主体性を忘れず、こどもたちと関わっていききたいです。</p>
	<p>清風園 支援員 ^{みやにし} 宮西 ^{わたる} 渉 利用者の方々のより良い生活の為に、笑顔での支援を大切にしていきます。よろしくお願いします。</p>		<p>あっぷる愛子こども園 パート看護師 ^{いのうえ} 井上 ^{やえこ} 八重子 歯磨き・手洗いなどの指導を充実させたいです。</p>

寄贈物品 & 招待行事

〈寄贈物品〉

- ★仙台環境開発株式会社 様
- ★株式会社ジャパンクリーン 様
夏祭り花火協賛
- ★鈴木道雄 様（あおば園家族）
空気清浄器 3台 あおば園



〈招待行事〉

- ★宮城県知的障害者福祉協会 様
- ★株式会社ジャパンクリーン 様
東北楽天ゴールデンイーグルス
野球観戦チケット



職員募集中!!

詳細はホームページで!

(<http://www.sendai-fukusi.org>)

※求人に関するお問い合わせ

TEL 022-394-5206 (本部)

受付時間: 平日9:00~17:00

千代福祉会



編集後記

晴れやかな秋空が広がる季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今号では千代福祉会創立50周年の歩みを紹介させていただきました。今後も法人の様々な情報を盛り込み、楽しく読んでいただける『せんぷく』をお届けできるよう努めてまいります。